

A picture is worth  
a thousand words.  
(百聞は一見にしかず)

Triangle

令和4年11月17日  
富江中学校 第16号  
校長 山上 福範

研究発表会

11/2(水)



富中生の伝える力（表現力）を披露する研究発表会を行いました。五島市教育委員会と市内外の小中高校から60名が来校し、3年生の総合、2年生の英語、1年生の国語の授業を参観しました。参観者の感想を紹介します。

- ★伝える力は生きていく上で非常に必要なスキルだと思った。
- ★伝える力を伸ばすことが生徒の自信につながり、自己肯定感も向上している様子がうかがえた。
- ★とても素敵な学校だなと感じた。研究成果が互いに素直に協力し合う生徒の姿に良く表れていた。
- ★子どもたち一人一人の表情が生き生きしていて、自分の考えを伝え合う姿を嬉しく頼もしく思った。生徒同士の対話の中で、深い学びを感じる発言が随所に見られた。
- ★子どもたちの表情が良く、伝えることへのポジティブさを感じた。
- ★3年生は地域の方や小学生などにも発表会を通してぜひ聞かせたい内容であった。
- ★学習したことを大きな舞台上で堂々と元気よく発表する姿に大きな成長を感じた。
- ★2年生が根拠をもとに自分の考えを強く訴える姿に驚いた。
- ★1年生の授業に臨む姿勢、書いている書評に大きな成長を感じた。
- ★富中キャラクターのトミイちゃんは親しみやすく、子どもたちに愛されると思った。



富中では「目的に対して必要な情報を収集、整理・分析し、自分の考えを相手に分かるように伝えることができる力」を高めています。話す時には速さや声の大きさ、視線、話す順序を意識するようにしています。

## 県駅伝大会激励式

11/4(金)



### ★主将：3年 古井

僕は、3年間、駅伝で県大会出場を目指して走ってきました。五島市の大会当日、緊張していた僕に「君は野球部から陸上部に転部して駅伝の楽しさを知った。今日が君の原点だ。すべてを背負わなくていいから自信を持って走って来なさい。」と声をかけてくださった先生の言葉に肩の力がスッと抜けました。

仲間の応援に背中を押されゴールした瞬間は、1年生の時よりも2年生の時よりも、駅伝を好きになっていました。

今年は、駅伝にたくさんの仲間が参加してくれて嬉しかったし、心強かったです。キャプテンとして最後まで自分にできることを一生懸命やっていたいです。

毎日、朝の練習を指導してくださる先生。朝4時に起きて、朝食を準備して送り出してくれる両親。県大会出場を喜び、協力してくださる地域の方々。僕たち駅伝部が頑張れるのは、たくさんの人の支えや応援があるからです。

今、僕たちは五島市大会での記録70分28秒では、県大会出場32チーム中24位です。駅伝を通して学んだ「最後まで諦めないこと」「仲間を信じて走ること」を胸に、県大会では8位入賞を目指して頑張ります。



### ★応援：3年 川中

私は駅伝大会の日、悔し涙が吹き飛ぶくらい大喜びしたのを覚えています。夏休みから一緒に練習してき

た仲間が県大会に出場することが決まって、とても嬉しかったからです。県大会のための練習は、今までしてきた練習の何倍もきつかったと思います。朝早くからグラウンドに来て走り、放課後も一生懸命走り込む姿は、とてもカッコよかったです。体が痛くてもチームのためにできる練習を行おうとする皆さんのことを私はとても尊敬しています。

県大会では、とても緊張すると思いますが、自分に自信を持ってください。チームの皆を信じてください。練習を頑張っている今の皆さんはとても強いです。県大会に出ることを誇りに思ってください。本番では、県大会に行くことのできないチームの分まで楽しみながら頑張ってください。応援しています。



## 進路選択

3年生親子が三者面談を終えました。今後、4ヶ月間で私立高校受験、公立高校前期選抜・離島留学、後期選抜受験と続いていきます。大きく次の選択が考えられます。

- ① 私立
- ② 私立＋公立前期
- ③ 私立＋公立後期
- ④ 公立前期
- ⑤ 公立後期
- ⑥ 公立定時制

不合格となった場合は、別の選択となります。公立高校にもよりますが、合否を決める割合が高い検査項目は、前期が調査書（中学校の成績等）、後期が学力検査です。



← 富江中学校ホームページ用  
二次元コード